



# BELLUNA

Business Report 2009 *BELLUNA*

## 第33期 株主通信

(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

◀この商品はP7でご紹介しています。

## 連結業績の推移

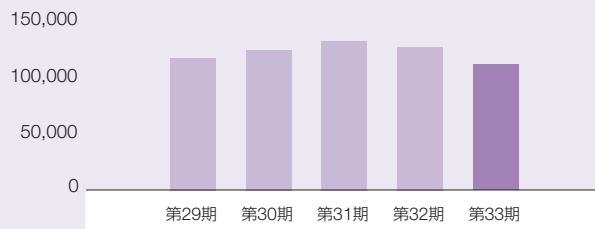
(単位:百万円)

	第29期 (平成17年3月)	第30期 (平成18年3月)	第31期 (平成19年3月)	第32期 (平成20年3月)	第33期 (平成21年3月)
売上高	115,098	121,938	129,912	125,173	109,912
経常利益(△は損失)	11,589	12,118	12,622	7,151	△2,239
当期純利益(△は損失)	6,777	6,935	7,141	3,435	△8,763
1株当たり当期純利益(△は損失)(円)	293.63	274.95	134.88	66.14	△173.72
総資産	97,015	119,253	149,239	160,707	133,868
純資産 <sup>*1</sup>	48,920	57,197	64,718	64,327	53,808
総資産利益率(ROA)(%) <sup>*2</sup>	12.0	10.9	9.3	6.8	1.0
自己資本利益率(ROE)(%) <sup>*3</sup>	14.8	13.1	11.7	5.3	-14.9

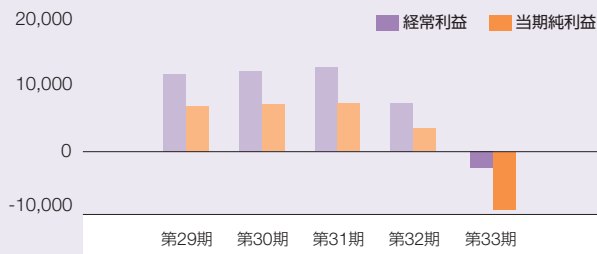
\*1 会計基準の変更にとまない、第30期までの純資産は従来の株主資本を表示しております。 \*2 総資産利益率=(営業利益+受取利息及び配当金)/期首・期末総資産平均

\*3 自己資本利益率=当期純利益/期首・期末自己資本平均。なお、第30期までの自己資本利益率は、従来の株主資本利益率を表示しております。

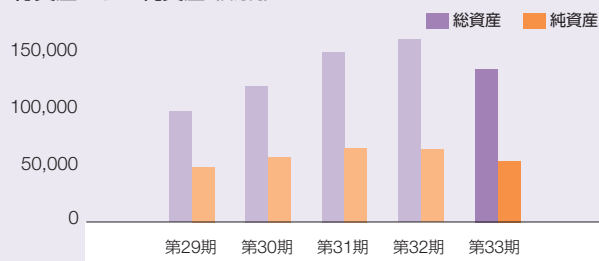
売上高 (百万円)



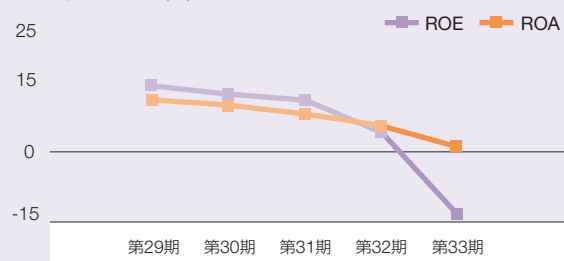
経常利益および当期純利益 (百万円)



総資産および純資産 (百万円)



ROEおよびROA (%)



## 社長メッセージ

# 厳しい決算内容を真摯に受け止め、 いかなる環境にも耐えうる 筋肉質な企業体質を目指します

### 当期の概況

当期の連結ベースの売上高は、前期比12.2%減の1,099億円となりました。一方、利益面では、経常損失を22億円、当期純損失を88億円計上し、株式上場以来初の赤字決算という厳しい結果となりました。販売用不動産の評価損を計上したほか、貸倒引当金繰入額の増大、また韓国のファイナンス事業における為替差損や固定資産の減損損失、投資有価証券評価損の計上などが、利益を押し下げる要因となりました。

また、平成21年5月29日公表のとおり、低料第三種郵便物制度を利用した広告媒体物の発送方法に関し、結果的に本来の趣旨と異なる使用をしてしまった事実を重く受け止めております。株主の皆様には大変なご迷惑をお掛けいたしましたことを、深くお詫び申し上げます。当社グループとしましては、事実関係の把握と原因究明を行い、再発防止策の策定を進めております。



### 当社を取り巻く環境

当期の国内経済は、米国のサブプライムローン問題に端を発した世界的な金融市場の混乱が、予想を遥かに上回る悪影響を实体经济に与えたことで、輸出の激減に株式市場の低迷、円高の進行も伴って国内企業の収益基盤が打撃を受けるなど、厳しい景況感の中で推移いたしました。また、個人消費については、景気および雇用所得環境の悪化から消費者の生活防衛意識はますます高まりをみせており、この状況は当面続くものと考えています。

### 当社の取り組み

このような外部環境の変化は、当社においては特にアドバンスト・ファイナンス(A・F)事業とプロパティ事業に対し大きな影響を与えました。これまで両事業は当社グループの収益を支えてまいりましたが、事業環境が急変する中では「財務内容の健全化」が最優先課題であり、営業貸付金の圧縮や販売用不動産の売却を進めるなど、両事業の規

## 社長メッセージ

模は必然的に縮小せざるを得ません。当期、A・F事業では回収を優先して営業貸付金を33.5%減少させ、借入金の返済に充当いたしました。またプロパティ事業では販売用不動産の時価を保守的に見積もり、35億円の評価損を計上いたしました。これにより、平成20年3月末に1,607億円であった総資産は1,339億円に減少しております。

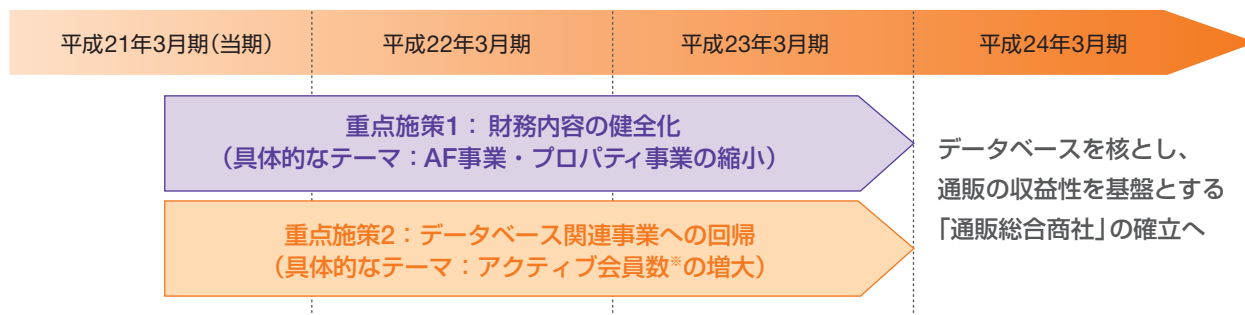
このほかにも、平成21年3月2日には、当社および子会社である株式会社ベルーナメーリングセンターで行うメーリングに関する事業を、株式会社吉田紙工様に譲渡いたしました。これまでお客様へのカタログ・DMの封入業務は当社グループ内で行っていましたが、専門企業に同業務とそれに関わる資産を譲渡することで、資産の圧縮と費用の変動費化を実現しております。

### 当社の方向性

「財務内容の健全化」に取り組む一方で、当社が志向するのは「原点であるデータベース関連事業への回帰」であり

ます。これまで当社は、複数の収益の柱が支えるポートフォリオ経営により、安定した成長性・収益性を保ってまいりました。しかし、ここ数年の収益の牽引役は「本業＝通販」ではありませんでした。当期に発生したコンプライアンス上の問題は全社的な内部管理体制の不備に一因があったことから、いま一度、当社の核や基盤は何であるのかを検証し、ポートフォリオを見直す必要があります。

当社は創業以来、「顧客志向・顧客密着」というスローガンを掲げ、新聞折込チラシを用いた頒布会系通販会社から、お客様の衣食住遊を豊かにする、幅広い商品・サービスを提供する通販会社へと成長してまいりました。その背景には、全国1,100万人を超えるお客様の存在があります。「多くのお客様が満足し、繰り返しご利用頂けるような商品・サービスは何か、またその提供方法は何か」を追求することが、当社の将来の業績を決めるものと考えます。このような「お客様の満足度を高めて支持の輪を広げる」という方針の下に、本業である通信販売において収益性を回復



\*アクティブ会員数：「カタログ事業」において2年以内に購入した実績のあるお客様の数

させることが喫緊の課題であります。短期的な収益性改善への取り組みとして、当期のカタログ事業では物流費・人件費などのコストコントロールに取り組みましたが、個人消費の低迷の影響などもあり売上高が減少したことから、利益率を改善するには至りませんでした。引き続き、コストコントロールに取り組むとともに、中期的にはお客様のリピート促進による利益率改善を図ってまいります。

また当期で3年目となった中期経営計画「あすなる計画」は、策定当初に比べて経営環境が激変したことにより一旦は凍結とし、「財務内容の健全化」「データベース関連事業への回帰」という2つの重点施策の進捗を踏まえ、適切な時期に改めて策定する予定であります。

## 株主還元に対する考え方

当社は「連結当期純利益の30%を配当・自社株買いで株主の皆様へ還元する」という方針を掲げております。当期は純損失を計上する結果となりましたが、配当は年間15円を据え置き、自社株も約5億円を買入れました。引き続き、当社は企業価値の向上を通じて、株主の皆様のご支援に報いたいと考えております。

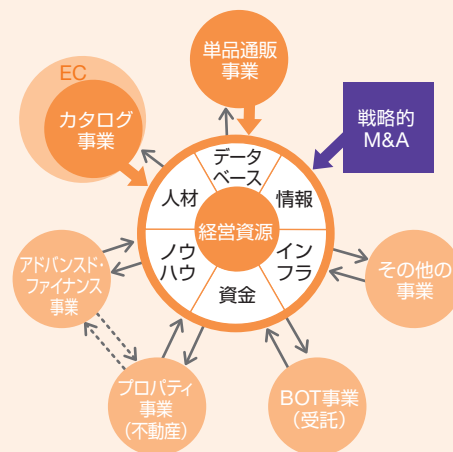
今後とも、当社および各事業へのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年6月

代表取締役社長 安野 清

## ビジネスモデル

ベルーナは、カタログ事業で培った全国1,100万人以上の顧客データベースやインフラなどの経営資源を保有しています。この強みを最大限に活かし、成長性と収益性が見込まれる単品通販、金融、受託などの事業を展開してきました。今後も顧客志向・顧客密着を合言葉に、経営資源の有効活用によって様々なニーズに応えたサービスを展開する「通販総合商社」を目指します。



# 「顧客志向・顧客密着」の具現化に、確固たる

当社は、平成18年1月から各種システムの刷新および業務フローの改善・改革に着手しておりますが、その施

## 1. リードタイム短縮の実現

お客様が「欲しい!」と思った商品をすぐにお届けできる仕組みづくりには、システムと業務フローの連携が必要です。この度、当社はデータ処理時間の短縮が実現できるシステムへの刷新と、最短で出荷可能な物流業務フローの構築を行い、平成21年1月より運用を開始いたしました。

※リードタイム：注文からお届けまでの期間

### 施策内容

【物流センターにおける業務フローの改善】  
受注の翌日に出荷可能な体制づくり

【在庫保有率の向上】  
注文時に即、引き当て可能となる商品を増加

【データ処理時間の短縮】  
オンライン提供時間を伸長し、  
1件でも多くの受注データを翌日出荷に反映

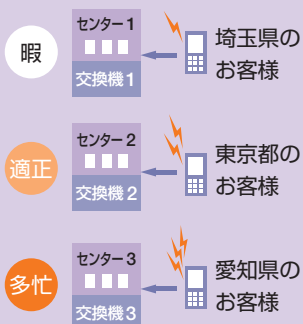


## 2. コンタクトセンターの品質向上

当社は、お客様一人ひとりのご購入・コンタクト履歴に基づき、きめ細かい対応が可能なコンタクトセンターづくりを目指しています。第1段階としては、これまで物理的に分断されていた各コンタクトセンターを論理的に統合させ、稼働率を平準化することができました。

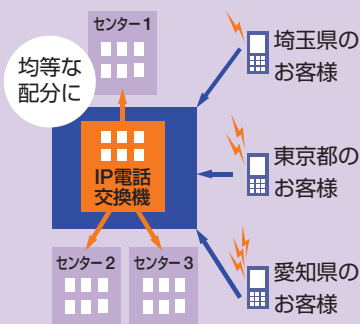
### ■従来

各拠点で交換機を管理



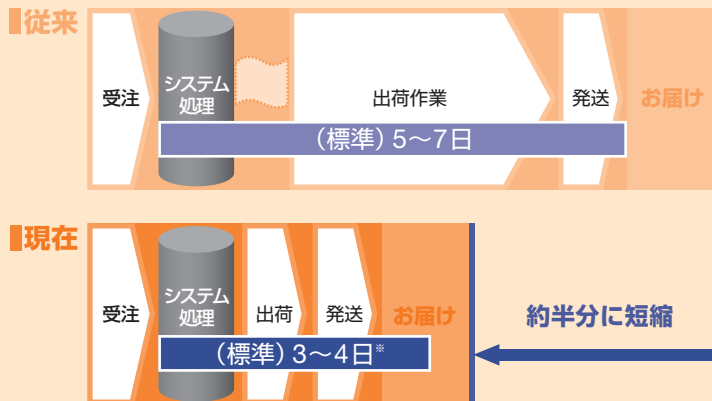
### ■現在

データセンターで交換機を管理



# 信念で取り組んでいます

策が徐々に実を結び始めています。



※在庫がある場合

現在、第2段階として、平成22年に導入予定の新システム運用に備えた組織改革を進めております。通信販売の唯一のお客様との直接的な接点とも言うべき「コンタクトセンター」の品質向上に、引き続き取り組んでまいります。



顧客満足度の向上により  
購買意欲を喚起し、  
リピート購入を促進

## 当期のヒット商品

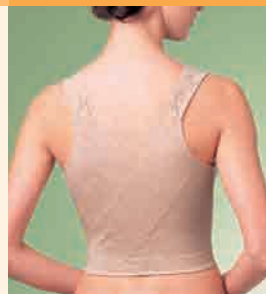
### フリースポンチョ2枚組

➤ 「寒い日に気軽に着られておしゃれな服」というコンセプトで企画したフリース素材のポンチョ2枚組。「軽くて暖か」「ゆったりとしたシルエットで着心地抜群」という機能性とデザイン性を持ち合わせた点がお客様に支持されました。



### 復刻版ネコ背にさよなら ブラ3色組

➤ 平成15年のデビュー以来、人気を集めていた当商品。平成17年に品切れの為に一度はカタログから姿を消しましたが、お客様から復活希望の声が続出！これに応え、復刻版として再度登場しました。幅広いサイズ展開と背筋をのばす機能性が、多くのファンの心を捉えています。





## カタログラインアップ

当社では、マインド年齢や趣味・嗜好に合わせ、総合型・専門型のカタログを実に年間30種類以上も発行しています。またインターネット・モバイルにも対応しています。



### ベルーナ

ミセス向け  
総合ファッション  
カタログ

1



### ルアール

30代向けレディス  
総合ファッション  
カタログ

1



### リュリュ

20代向けレディス  
総合ファッション  
カタログ

1



### ルフラン

ミセス向け総合ファッ  
ション・雑貨カタログ

1



### 素敵な生活

総合生活雑貨  
カタログ

1



### いきいき家族

食と花の専門カタログ

2



### マイワインクラブ

ワイン専門カタログ

2



### リフレ

サプリメント専門  
カタログ

3



### オージオ

化粧品専門カタログ

4



### ベルーナネットショップ

belluna.jp



### リュリュモバイルサイト

i.m.ryuryu.jp(携帯各社共通)

【お問合せ】※カタログをご希望の方は、カタログ横の番号1~4に合わせて右記へお問合せ下さい。  
※お届けするカタログは最新号です。お時間がかかる場合がございますので予めご了承下さい。

1 0120-85-7890 2 0120-307-963

3 0120-22-9299 4 0120-0210-10

## コーポレートガバナンス

当期、当社はコンプライアンスを含むガバナンス体制の整備および強化を進めてまいりました。現在、当社が注力する点は、「継続して運用し、当社の文化として根付かせること」であります。

例えば、専務取締役を委員長とし、顧問弁護士を含む9名の委員で構成されたコンプライアンス委員会は、平成20年9月の設置以降、毎月開催されています。同委員会では、報告された事故情報の共有および再発防止策の精査など、コンプライアンス上のリスクコントロールを目的に運営され、取締役会や代表取締役への助言、および各部門への業務改善・停止命令の権限を保持しています。これまでに委員会指導の下、関連法に対する遵守事項のチェックや事業の定期的なモニタリングなどを行いました。

また、低料第三种郵便物制度の不適切な利用の判明を

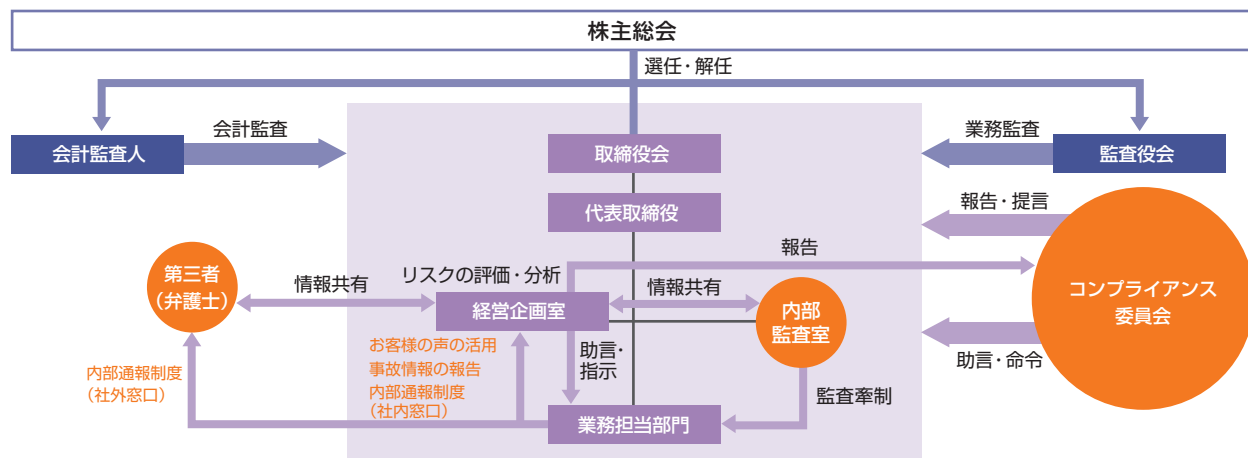


◀コンプライアンス委員会の様子

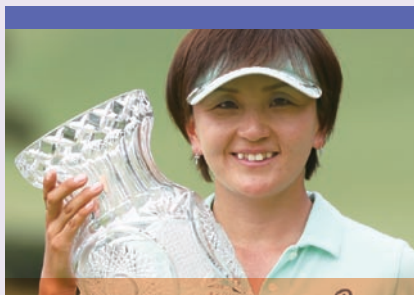
受け、現在当社では原因究明と再発防止策の策定を進めております。その結果を踏まえ、現在のガバナンス体制をより機能させるため、意識の改革や運用フローの整備も加えて進めてまいります。

引き続き当社は、コンプライアンスに対する危機感を風化させることなく、ガバナンス体制を機能させることにより、社会的信頼の回復に真摯に取り組んでまいります。

### ガバナンス体制



## トピックス



### 第8回 ベルーナレディースカップ ゴルフトーナメント開催

当社の認知度の向上、およびグループ社員の結束力強化を目的とし、平成20年7月4日～6日の3日間、群馬県の小幡郷ゴルフ倶楽部にて、当社主催のレディースゴルフトーナメントを開催いたしました。

最終日は、地元・群馬県出身の茂木宏美選手と韓国のイ・ジウ選手が首位タイからスタートする中、昨年の当大会で優勝した福嶋兒子選手が猛追を見せるなど、30度を超える真夏日にふさわしい白熱した展開になりました。

最後は、茂木選手がウイングパットを決めると、18番グリーンには大歓声が鳴り響き、嬉しい地元での勝利を飾りました。



### IRサイトが「2009年優秀企業 580社」に選定されました

当社のIRサイト(<http://www.belluna.co.jp/ir>)は、総合通販会社としては唯一、大和インベスター・リレーションズ株式会社による「2009年インターネットIRサイトの優秀企業580社」に選定されました。同社の選定する優秀企業は、「資料・情報開示」「電子メールでの質問受付・回答」「ユーザビリティ」等の項目で定量的に評価され、一定水準を満たしている企業のみが選ばれます。

今後も当社は、投資家の皆様ならびに各ステークホルダーの皆様に向けて、積極的にかつタイムリーに情報を開示するとともに、当社に対する理解を一層深めていただける様、情報発信およびコミュニケーションの充実を図ってまいります。



### ベルーナネットをリニューアル しました！

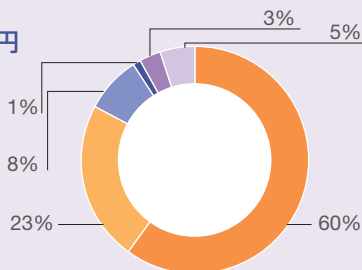
当社は、お客様の「安心」と「利便性」を追求し、快適にお買い物を楽しんでいただけるサイトづくりを目的として、平成21年3月30日にショッピングサイト「ベルーナネット」(<http://belluna.jp>)をリニューアルいたしました。

これまで連動型(カタログ・商品番号を入力して注文する方法)と完結型(サイト上で商品を選択し注文する方法)で分かれていた買い物がごを統一し、商品検索時に1つのキーワードで幅広い商品検索が可能なる仕組みを導入したほか、ラッピングサービスのお申し込みが可能となりました。特に、商品検索は、ひらがなとカタカナ、大文字と小文字などの表記の「ゆらぎ」に対応しており、お客様が思い描いた商品にダイレクトにアクセスできる仕組みになりました。

# 連結財務諸表(要旨)

連結売上高

1,099億円



## カタログ事業

カタログなどを媒体とする生活関連商品の通信販売事業。特に若年層に向けては、インターネットやモバイルを活用して展開

## 単品通販事業

単体、および子会社で展開する、グルメ・化粧品・健康食品などの専門分野に特化した通信販売事業

## アドバンスド・ファイナンス(A・F)事業

通信販売事業の顧客を主な対象としたB to Cファイナンス、および事業会社向けのB to Bファイナンス事業、韓国でのファイナンス事業

## BOT事業

封入・同梱事業、および受託事業から成る、当社のデータベースやインフラを活用したサービス事業

## プロパティ事業

オフィスビルなどの賃貸、および再生・開発を手掛ける不動産事業

## その他の事業

商品企画のノウハウを活用した卸販売事業など

## 連結貸借対照表

(単位:百万円未満切捨)

	第33期 平成21年3月現在	第32期 平成20年3月現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	85,652	109,610
固定資産	48,215	51,096
有形固定資産	29,386	31,670
無形固定資産	4,696	2,336
投資その他の資産	14,132	17,090
<b>資産合計</b>	<b>133,868</b>	<b>160,707</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	53,769	63,433
固定負債	26,289	32,946
<b>負債合計</b>	<b>80,059</b>	<b>96,379</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	54,867	64,839
資本金	10,607	10,607
資本剰余金	11,003	11,003
利益剰余金	42,053	51,570
自己株式	△8,796	△8,340
評価・換算差額等	△1,059	△723
少数株主持分	0	211
<b>純資産合計</b>	<b>53,808</b>	<b>64,327</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>133,868</b>	<b>160,707</b>

### 【資産合計】

前期に比べ、資産合計は26,839百万円減少しました。これは、金融・経済環境の悪化を受け、A・F事業において回収を優先し、営業貸付金が17,723百万円減少したこと、および不動産市況の低迷により販売用不動産の評価損が発生したことなどが主な要因です。

### 【負債合計】

前期に比べ、負債合計は16,320百万円減少しました。主として、営業貸付金の減少に伴い、長短借入金を12,486百万円減らしたことによるものです。

## 連結損益計算書

(単位:百万円未満切捨)

	第33期 自平成20年4月 至平成21年3月	第32期 自平成19年4月 至平成20年3月
売上高	109,912	125,173
売上総利益	59,967	73,614
販売費及び一般管理費	58,745	63,405
営業利益	1,221	10,208
営業外収益	1,216	982
営業外費用	4,677	4,039
経常利益(△は損失)	△2,239	7,151
特別利益	103	161
特別損失	5,145	1,234
税金等調整前当期純利益(△は損失)	△7,281	6,077
法人税、住民税及び事業税	1,444	3,507
法人税等調整額	9	△926
当期純利益(△は損失)	△8,763	3,435

### 【売上高】

各セグメントともに、売上高は前期を下回りました。特に、営業貸付金を圧縮したA・F事業や展示会販売事業からの撤退があったその他の事業において大幅減となりました。

### 【営業利益】

営業利益は、プロパティ事業における販売用不動産評価損を3,451百万円計上したことや、A・F事業で貸倒引当金繰入額が増加したことなどにより大幅減益となりました。

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円未満切捨)

	第33期 自平成20年4月 至平成21年3月	第32期 自平成19年4月 至平成20年3月
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,893	△11,119
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,854	△9,642
財務活動によるキャッシュ・フロー	△13,684	11,926
現金及び現金同等物に係る換算差額	△549	△421
現金及び現金同等物の増減額	△194	△9,256
現金及び現金同等物の期末残高	17,086	17,222

## 連結株主資本等変動計算書

(単位:百万円未満切捨)

	第33期 自平成20年4月 至平成21年3月	第32期 自平成19年4月 至平成20年3月
株主資本		
資本金		
前期末残高	10,607	10,607
当期末残高	10,607	10,607
資本剰余金		
前期末残高	11,003	11,003
自己株式処分差益	—	△0
当期末残高	11,003	11,003
利益剰余金		
前期末残高	51,570	49,255
連結範囲の変動	6	△337
剰余金の配当	△759	△783
当期純利益(△は損失)	△8,763	3,435
当期末残高	42,053	51,570
自己株式		
前期末残高	△8,340	△6,545
自己株式の取得	△455	△1,795
自己株式の処分	—	0
当期末残高	△8,796	△8,340
株主資本合計		
前期末残高	64,839	64,320
当期変動額合計	△9,971	518
当期末残高	54,867	64,839
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金		
前期末残高	△399	21
当期変動額	354	△421
当期末残高	△45	△399
繰延ヘッジ損益		
前期末残高	—	125
当期変動額	—	△125
当期末残高	—	—
為替換算調整額		
前期末残高	△323	100
当期変動額	△689	△424
当期末残高	△1,013	△323
評価・換算差額等合計		
前期末残高	△723	247
当期変動額合計	△335	△971
当期末残高	△1,059	△723
少数株主持分		
前期末残高	211	150
当期変動額	△211	61
当期末残高	0	211
純資産合計		
前期末残高	64,327	64,718
当期変動額合計	△10,518	△391
当期末残高	53,808	64,327

## 株式の状況 (平成21年3月31日現在)

発行可能株式総数 ..... 130,000,000株

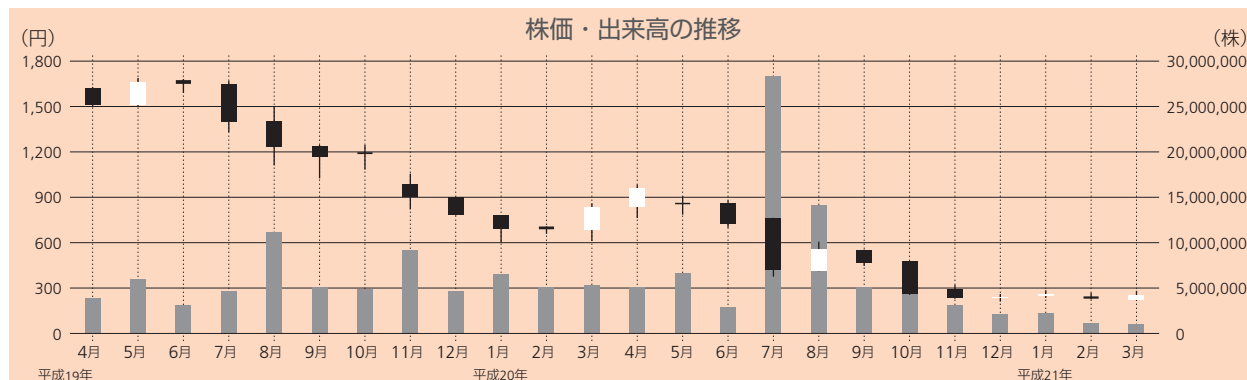
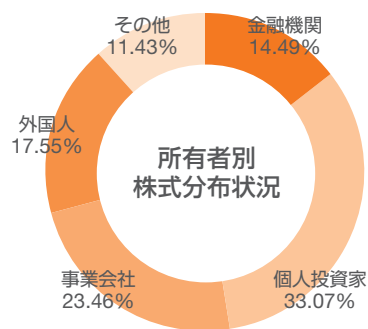
発行済株式の総数 ..... 56,592,274株

株主数 ..... 7,781名

### 大株主

大株主(上位10名)	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)
安野 清	10,598	21.14%
株式会社フレンドステージ	7,814	15.59%
有限会社日本リポワール	4,359	8.70%
ビービーエチフォーフィディティロープライズストックファンド	3,850	7.68%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	2,398	4.79%
安野 公	1,662	3.32%
野村信託銀行株式会社	1,186	2.37%
株式会社三井住友銀行	1,123	2.24%
足利銀行	1,050	2.10%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	838	1.67%

注) 信託銀行各行の持株数には、信託業務に係る株式が含まれております。



## 会社の状況 (平成21年3月31日現在)

**商号** 株式会社ベルーナ  
**資本金** 106億7百万円  
**代表者** 安野 清(代表取締役社長)  
**創業** 昭和43年9月  
**設立** 昭和52年6月  
**従業員数** 1,071名(連結)  
**事業内容** カタログ等による通信販売を核に、  
金融、サービス、卸売等の分野に  
展開する通販総合商社

**主な事業所**

本社	(埼玉県上尾市)
本館	(埼玉県上尾市)
東京オフィス	(東京都新宿区)
アネックスビル・第2アネックスビル	(埼玉県上尾市)
北関東オーダーレセプションセンター	(埼玉県鴻巣市)
川越オーダーレセプションセンター	(埼玉県川越市)
領家丸山流通システムセンター	(埼玉県上尾市)
宇都宮流通システムセンター	(栃木県鹿沼市)
領家山下クリニックセンター	(埼玉県上尾市)
領家山下流通システムセンター	(埼玉県上尾市)

**役員**

代表取締役社長	安野 清
専務取締役	島野 武夫
取締役	穴戸 順子
取締役	生川 雅一
取締役	高橋 利郎
取締役	須藤 滋
取締役	安野 雄一郎
常勤監査役	藤田 秀二
監査役	中村 勲
監査役	渡部 行光

**ホームページ** (企業ホームページ)  
<http://www.belluna.co.jp>  
(IR専用ページ)  
<http://www.belluna.co.jp/ir/>



## 株主メモ

事業年度 ..... 4月1日～翌年3月31日

配当金受領株主確定日 ..... 期末配当金 3月31日  
中間配当金 9月30日

定時株主総会 ..... 6月下旬

基準日(定時株主総会関係) ..... 3月31日

株主名簿管理人および ..... 三菱UFJ信託銀行株式会社

特別口座の口座管理機関 ..... 〒100-8212  
東京都千代田区丸の内一丁目4番5号

同連絡先 ..... 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
〒137-8081

東京都江東区東砂七丁目10番11号

☎0120-232-711(フリーダイヤル)

公告の方法 ..... 電子公告により行う

<http://www.belluna.co.jp/>

(ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。)

### 【お知らせ】

1. 株券電子化に伴い、株主さまの住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることになっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式会社 **ベルーナ**

〒362-8688 埼玉県上尾市宮本町4番2号

TEL : 048-771-7753 (代表)

(ホームページ) <http://www.belluna.co.jp/>

**re100**



本誌は、古紙配合率100%の再生紙に大豆インクを使用して印刷しています。